



事業所一覧

- **本店**
〒131-8540
東京都墨田区堤通1-19-9
Tel 03-3618-6500
- **関東支店**
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町3-20
Tel 03-3296-6680
- **大阪支店**
〒530-0047
大阪市北区西天満1-2-5
Tel 06-6360-7110
- **北海道支店**
〒060-0001
札幌市中央区北一条西2-9
Tel 011-241-1828
- **東北支店**
〒980-0014
仙台市青葉区本町2-5-1
Tel 022-225-4437
- **北信越支店**
〒950-0914
新潟市中央区紫竹山1-5-6
Tel 025-243-6807
- **中部支店**
〒460-0002
名古屋市中区丸の内2-18-25
Tel 052-222-5161
- **中国支店**
〒730-0051
広島市中区大手町4-1-1
Tel 082-243-1966
- **九州支店**
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-2-1
Tel 092-432-0884
- **四国支店**
〒760-0007
高松市中央町11-11
Tel 087-833-3729
- **技術研究所**
〒204-0011
東京都清瀬市下清戸4-640
Tel 042-495-6800
- **機械センター**
〒346-0035
埼玉県久喜市清久町6-5
Tel 0480-23-6100



表紙について

2009年8月、駿河湾沖で発生した地震により崩落した東名高速道路の様子。NEXCO中日本との災害協定に基づき、大林道路は復旧作業に貢献。東名高速道路は日本の交通網において大動脈ともいえる路線のため、連日メディアによって伝えられた工事状況は多くの方々の関心を集めました。

企業理念

～大林道路からのお約束～

3つのテーマからなる、大林道路の企業理念をご紹介します。

豊かな生活環境の創造に向けて

社会基盤、産業基盤、生活基盤等において、安全で、快適で豊かな環境を創造し、サービスを提供することにより、人々に真の満足を与え、生活の向上と社会の発展に貢献します。

地域社会と共に歩み

企業行動を営むそれぞれの地域社会において、事業を通じ、また、その地域の一員として溶け込み、地域社会の発展に尽くします。

人間尊重の経営を行います

従業員一人ひとりの個性を生かし、誇りと働きがい、生きがいのある場を提供し、また、当社と関係のある全ての人々が幸せとなることを願い行動します。

私たち大林道路は3つのテーマで構成された企業理念に基づいて事業活動を行ってまいりました。これらのテーマは、皆さまの生活に密着した製品を提供し、地域社会の歴史を創造するためのお手伝いをさせていただくために必要不可欠なものだと考えております。

2009年度から発行する「CSR報告書」では、私たちが今までどのようにこの企業理念に向かって取り組んできたかをお伝えします。内容を通じて、大林道路のCSRに対する考え方をご理解いただけるのではないかと思います。

Contents ー目次ー

企業理念	1
目次・編集方針	2
大林道路の事業	3
トップコミットメント	5
CSR 推進の枠組み	6
コーポレートガバナンス	7

豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供	9
価値ある情報の提供	11

地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築	13
地球環境への配慮・環境方針	15
シリーズ 大林道路の技術“守る”	16
特集	17
環境にやさしい久喜アスファルト混合所	

人間尊重の経営を行います

安全衛生方針	19
人材育成・職場環境	21

CSR に関する用語解説	23
--------------	----

編集方針

大林道路では本年度よりCSR報告書を発行するにあたって、日々の取り組みをできるだけわかりやすくお伝えできるよう心がけました。

●対象期間

2008年4月から2009年3月までの活動を中心に報告しています。ただし、一部それ以前からの取り組みや直近の活動報告も含んでいます。

●発行時期

2010年2月（次回は2010年10月を予定）

●お問い合わせ先

大林道路株式会社 本店総務部 総務課
〒131-8540 東京都墨田区堤通1-19-9
リバーサイド隅田セントラルタワー 5階
TEL：03-3618-6500
FAX：03-3618-6597

大林道路の事業

大林道路の事業内容、工事事例、財務状況などを紹介します。

大林道路は、1933年の創立以来、道路建設を基軸とした長い歴史に培われた技術により、人々の生活に密着した道路を核に空港・港湾、通信情報施設・下水道、病院・学校、スポーツレジャー施設・公園、工業や商業の各種施設など社会インフラの整備や豊かな生活環境の実現に貢献してまいりました。

最近の主な工事



SUGO 西コース改修工事
(宮城県 2009年3月竣工)



千鳥ヶ淵四季の道整備工事
(東京都 2009年3月竣工)



中之島新線建設工事のうち土木工事
(第5工区)公園復旧工他工事
(大阪府 2009年8月竣工)



旧豊島中学校土壌汚染対策工事
(東京都 2009年7月竣工)



堺市立サッカー・ナショナル
トレーニングセンター
(大阪府 2009年12月竣工)

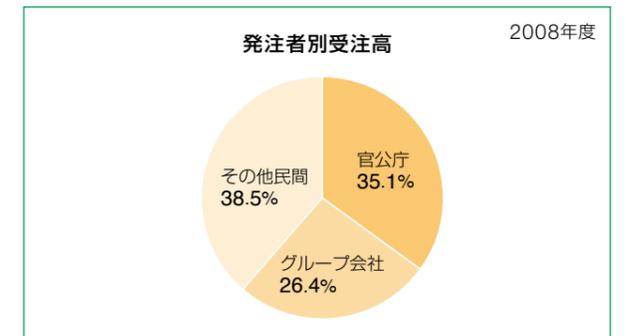
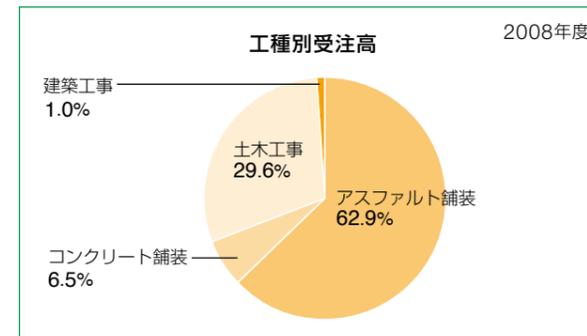
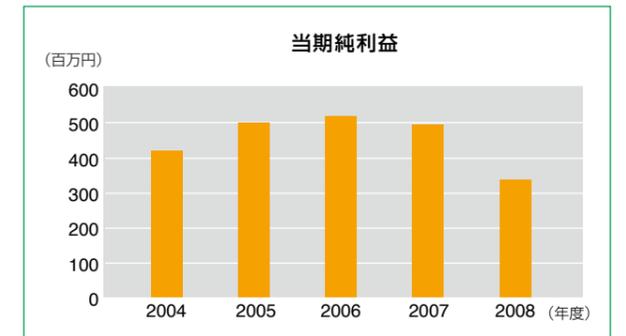
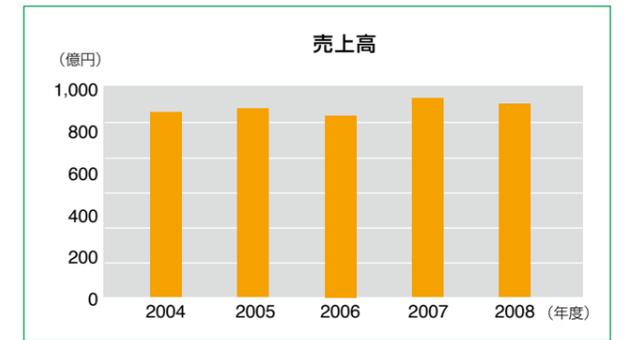
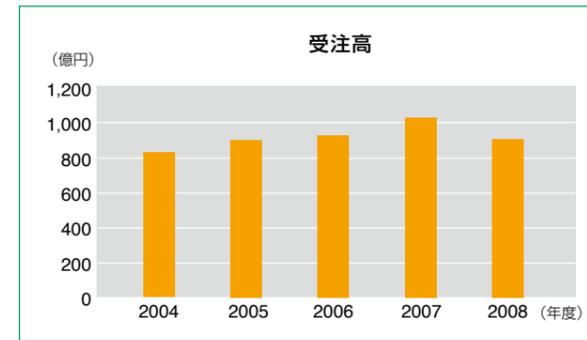


山陰自動車道 出雲舗装工事
(島根県 2010年3月竣工予定)

会社概要

<p>商号 大林道路株式会社 OBAYASHI ROAD CORPORATION</p> <p>本店所在地 東京都墨田区堤通1-19-9 リバーサイド隅田セントラルタワー 5階</p> <p>代表者 取締役社長 石井 哲夫</p> <p>創立 1933 (昭和8)年8月26日</p> <p>資本金 6,293百万円 (2009年3月31日現在)</p> <p>従業員数 1,107名 (2009年3月31日現在) 平均年齢 41歳 平均勤続年数 17年</p> <p>株式上場 東京証券取引所市場第一部</p>	<p>主な事業領域</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路工事、舗装工事、造園、敷地造成工事、上下水道工事 その他の土木工事 2. アスファルト合材等の製造及び販売 3. アスファルト及びコンクリート廃材の中間処理業務 <p>建設業許可 国土交通大臣許可 (特-19) 第2523号</p> <p>建設コンサルタント登録 建21第4207号 道路部門</p> <p>一級建築士事務所登録 大阪府知事登録 (二) 第15214号</p> <p>宅地建物取引業許可 国土交通大臣 (5) 第4206号</p>
---	---

財務状況



株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション

「利益配分に関する基本方針」

株主各位に対しまして安定的な配当を継続するとともに、財務体質の強化や将来に備えた研究開発、設備投資などを行うために内部留保の充実を図ることを基本方針といたしております。

「情報開示の適切な対応」

法令開示情報の遵守と適時・適切な情報開示に努めるため、四半期開示を行っております (詳細は、ホームページに掲載しております)。

「企業価値の向上」

企業価値の維持と向上のため、ISO9001とISO14001を取得しております。

トップコミットメント



企業理念に基づき 社会的責任を果たしていきます

大林道路は1992年にCI（コーポレート・アイデンティティ）を導入し、当社の21世紀に向けたあるべき姿を描いた「21世紀ビジョン」を作成いたしました。この中で当社は「地球」及び「人間」というキーワードで、より良き「企業市民」として行動し、「人間尊重」の思想を取り込み、より豊かな生活に向け、一人ひとりが安心して生活できる企業づくりに取り組むことを表しております。「21世紀ビジョン」はこの認識の上に、将来にわたって大林道路に集うすべての人々が深く理解・共有し、実践すべき企業理念と当社の将来像を具現化する戦略について述べたものであります。

私もCI委員会の一員として、この「21世紀ビジョン」の策定に参画させていただきました。18年を経過した今、あらためて読み返してみても決して過去の遺物ではなく今でも十分に通用するものと自負しております。

残念ながら、「21世紀ビジョン」は戦略的なことも記載しているため、社外に発表しておりません。このため、当社の利害関係者でありますステークホルダーに対して、どのようなプロセスや体制をもっ

て企業活動を行っているかを伝えていくべきと考えておりました。そこで当社は、2008年に創立75周年を迎えたのを機に、原点に立ち返って企業活動全体を検証し、このCSR報告書を発刊することといたしました。

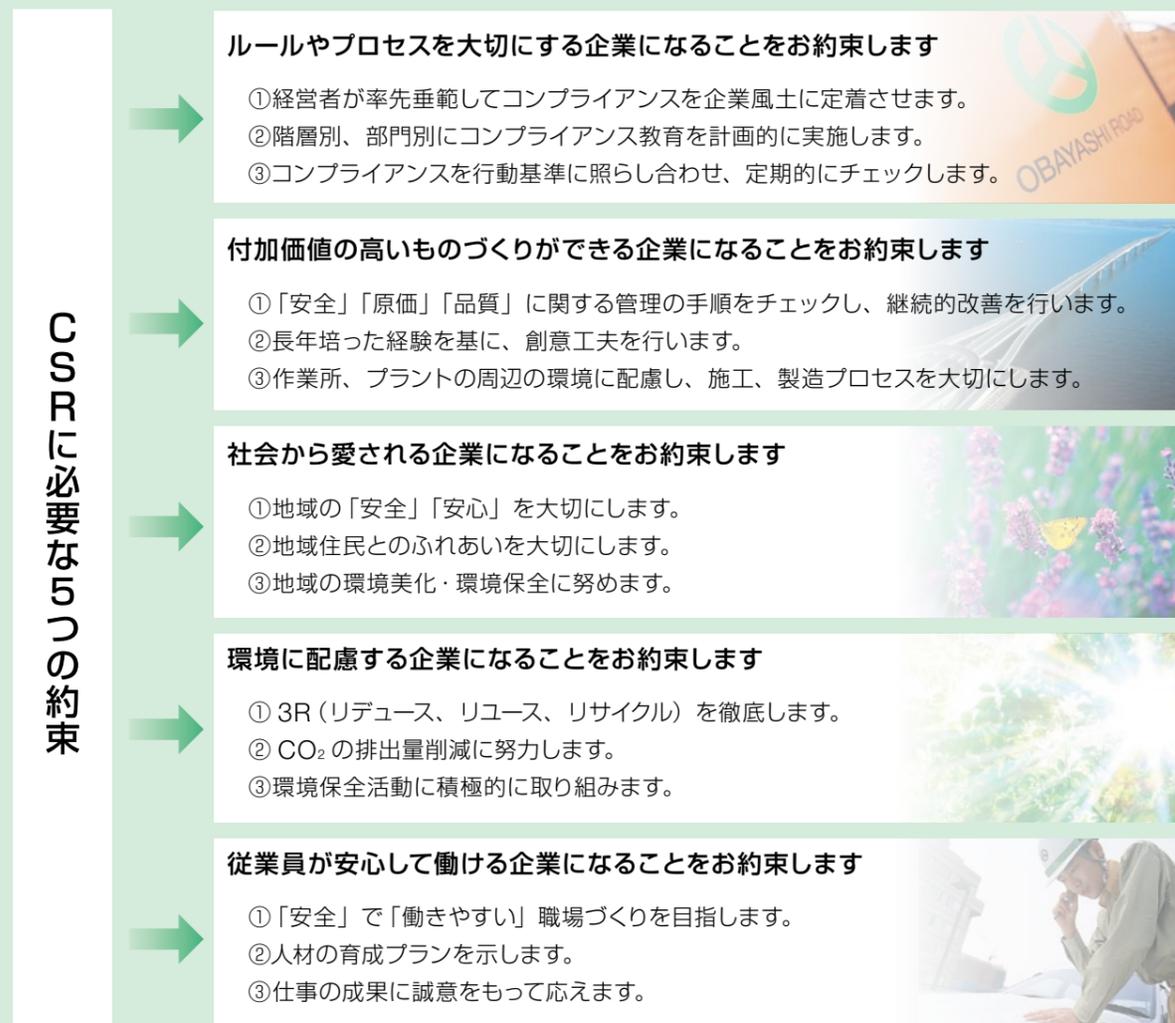
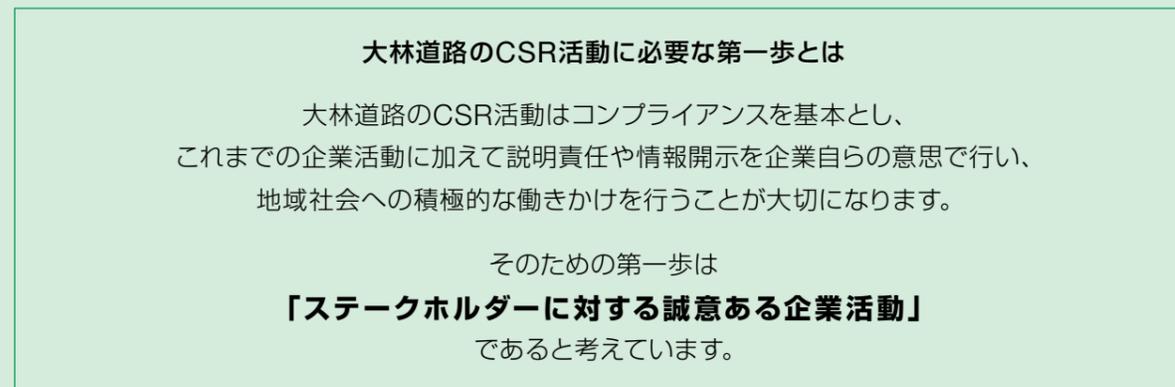
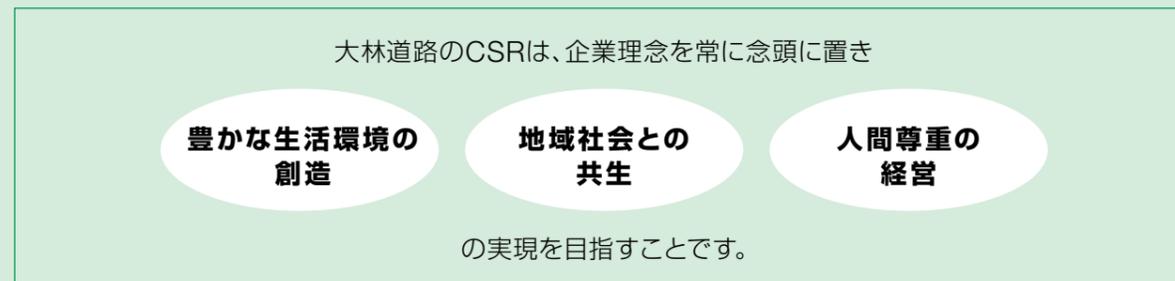
昨今企業の社会的責任（CSR）の重要性が叫ばれており、企業は、その営業活動により売上と利益を上げ、税金を納めることによって社会への貢献を果たすことが本義であるとの考え方もあります。しかしそこからさらに進んで、企業活動全般を見直し、事業を通じてもっと積極的にその社会的責任を果たすべきであるとの認識が必要になってきたと感じております。

当社は、道路工事を主体とした建設工事に関わっております。インフラ整備で社会の発展に寄与していくだけでなく、企業活動に関与する全ての方々に当社の姿勢を知っていただき、社会に必要な企業として事業を継続していくことといたしております。まだまだ不十分なことも多いと感じられるかもしれません。皆さまからの意見を積極的に取り入れ、今後とも企業理念に基づいて行動し、企業の社会的な責任を果たすべく日々努力していく所存でございます。

2010年2月

取締役社長 **石井哲夫**

CSR推進の枠組み



コーポレートガバナンス

経営チェック体制を確立しています

コンプライアンス経営を旨とする、コーポレートガバナンスの体制を築いています。

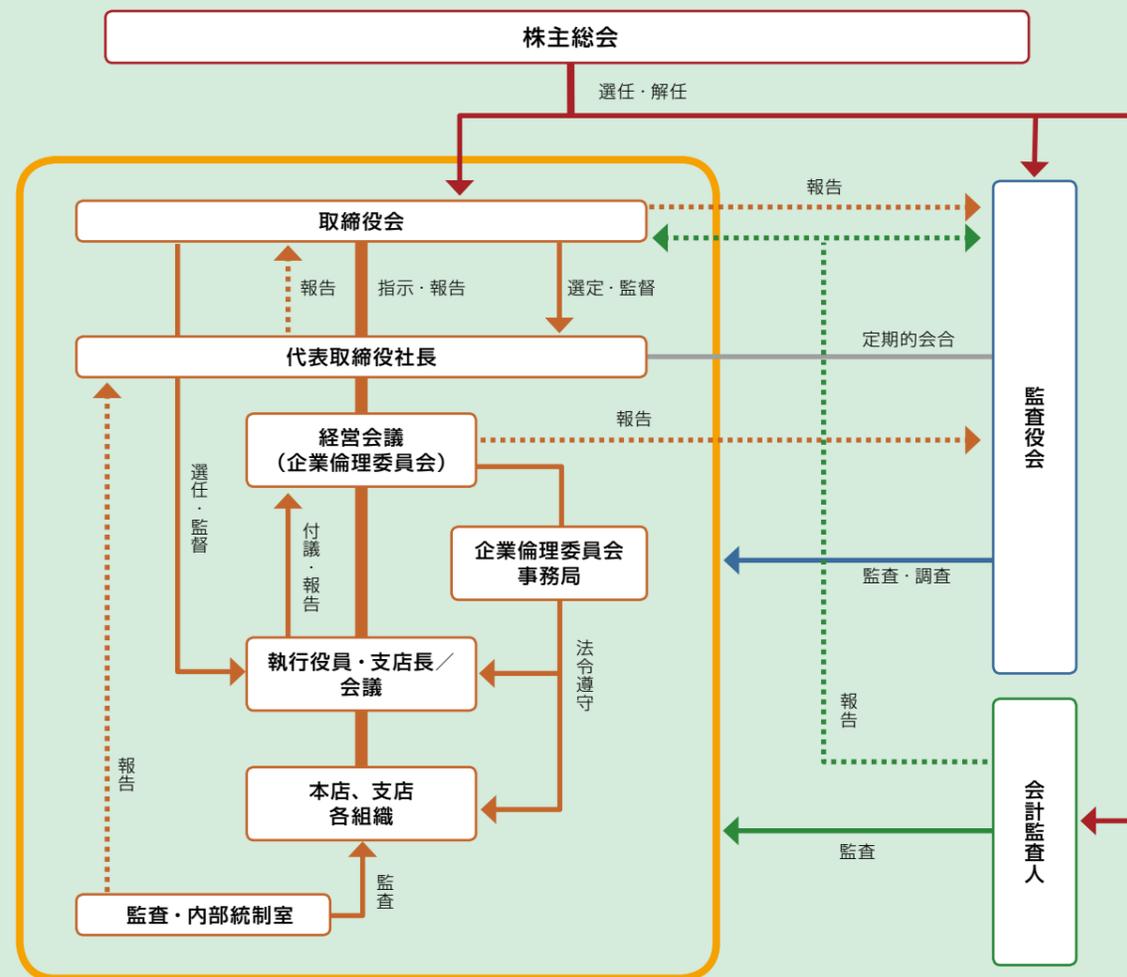
コーポレートガバナンス体制

大林道路は、コーポレートガバナンスを通じて内部統制をしていくことがコンプライアンス経営の根幹であり、健全な企業として発展していく上で不可欠な要素であると考えています。

その考えのもと、正しい経営判断を行い、実行できるよう、取締役会、経営会議、企業倫理委員会などで十分審議し、適宜、監査役に報告し、適切な監査を受けています。

また企業会計については、独自の立場である会計監査人から監査を受けています。

コーポレートガバナンス体制



取締役会

経営の意思決定と業務執行の監督
執行役員の選任・解任及び監督

執行役員

取締役から委託された業務の執行

経営会議

重要な業務執行の計画、立案、協議

企業倫理委員会

行動基準の策定、綱領遵守状況の監視

監査役会

取締役の職務執行の監査・会計監査

危機管理体制

- ・危機管理対策規程を整備、運用し、危機を未然に防ぐとともに、万一発生した場合にも迅速かつ適切な対応ができるよう対策をとっています。
- ・BCP（事業継続計画）を策定し、自然災害など、予期せぬ事態が発生した時にも、事業が継続できるよう対策をとっています。

情報管理体制

- ・情報資産のセキュリティに関する基本方針を定め、緊急事態の発生に備えた予防対策を講じています。
- ・個人情報取扱規程を整備、運用し、個人情報を適正に取り扱っています。
- ・経営の重要事実に関して情報管理を行い、不正な取引が行われぬようインサイダー取引防止規程を整備、運用しています。

コンプライアンス・内部統制体制

- ・企業倫理遵守のための基本方針を策定し、定期的に企業倫理委員会を開催することで、企業倫理遵守の徹底を図っています。
- ・内部監査担当部署による各部門の業務執行状況・コンプライアンスおよび財務報告に係わる内部統制システムの監査を定期的実施しています。
- ・部長職以上の役職者に対し、「独占禁止法および刑法（競売入札妨害罪、談合罪）に違反する行為は絶対に行わない」旨の誓約書を取り不正防止に努めています。
- ・経営健全化を目的として、内部通報制度を設けています。

品質管理体制、環境管理体制

- ・ISO9001に基づく品質マネジメントシステム体制を確立し、「改善」に努め、お客様に満足いただける製品の提供に努めています。
- ・ISO14001に基づく環境マネジメントシステム体制を確立し、地球そしてそこに暮らす人々に思いやりのある活動を実施しています。



豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供

方針に基づき、高い品質を確保します

大林道路の品質の維持・向上への取り組みとその成果をご紹介します。

品質方針

私たちは確かなものづくりにより顧客・社会からの信頼に応えます。

- ①顧客・社会からの要求に対する迅速な対応
- ②人材育成および業務の継続的改善に努め確かな技術製品に反映

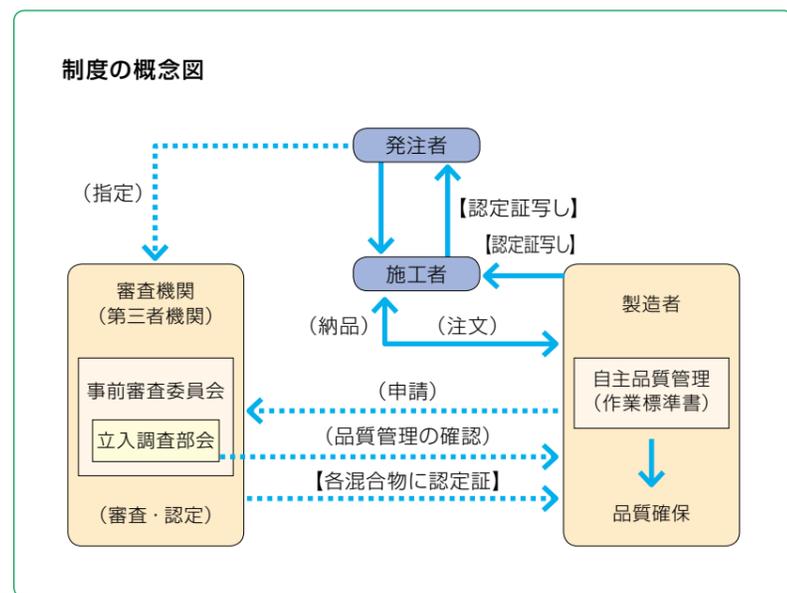
品質確保

●アスファルト混合物事前審査制度

アスファルト混合物事前審査制度とは、アスファルト混合所から出荷するアスファルト混合物を、第三者機関が事前に審査・認定することにより、従来の工事ごと、混合物ごとに行っていた品質管理に関する基準試験（配合設計を含む）や試験練り等を省略できるとしていることです。

その目的は、①合理化、②省力化、③自主管理、④安定した品質確保となっています。

当社では22箇所の工場においてこの制度を導入し、製品の品質確保を行っております。



アスファルト混合物事前審査認定証



立入調査状況

品質の維持・向上への取り組みにより表彰を受けました



表彰者：東京都建設局
 対象者：大林道路・会津工業建設共同企業体
 吉田裕興（東京第2営業所）
 後藤義宏（東京第2営業所）
 横山宏明（会津工業建設）
 工事名：駒沢オリンピック公園園地改修工事その2
 工期：2008年10月24日～2009年3月13日
 表彰日：2009年7月14日
 表彰理由：困難な条件の中で終始熱意と努力をもって施工し、優秀な成績で完成させ建設局事業の推進に貢献したと認めていただいたことによる



“温故知新”をテーマに限られた条件の中、先人たちの技量を用いて再構築。既存の石を利用し「エコ」につなげた。(後列左から3人目は共に工事に従事した、株式会社セキム口造石の寂室社長)



表彰者：東北地方整備局仙台河川国道事務所
 対象者：大林道路株式会社東北支店
 工事名：寺池道路舗装工事
 工期：2008年3月6日～2009年2月27日
 担当者：松崎真一（寺池工事事務所）
 表彰日：2009年7月29日
 表彰理由：卓越した技術力と施工管理をもって工事の完成に尽力し他の模範となる優秀な成果をおさめ国土交通事業に貢献したと認めていただいたことによる



さまざまな困難に対して妥協せず立ち向かい、克服したことによって高品質を確保でき、信頼を得られた。



表彰者：近畿地方整備局滋賀国道工事事務所
 対象者：大林道路株式会社大阪支店
 工事名：一号草津管内沿道環境改善工事
 工期：2008年11月20日～2009年3月20日
 担当者：碓井学（京滋営業所）
 松崎秀昭（京滋営業所）
 表彰日：2009年7月24日
 表彰理由：施工にあたり幾多の困難を克服して優良たる成績をもって本工事を完成したと認めていただいたことによる



国道1号の交通が輻輳する中で、工期が短く施工場所が7箇所も点在し、かつ昼夜間施工で工程や安全管理に苦慮したが、監督員等と綿密な調整を行い安全で品質も良好に完成させることができた。

品質向上

●施工技術発表会

今回(2008年11月)で18回になる施工技術発表会は、社内で行われた工事・技術営業などの中で価値ある技術を水平展開することが目的で1991年(平成3年)から年1回行われています。各支店より45編ほどの論文が集まり、その中から20編ほどの発表を東京で行います。通常業務の中では広げることが難しい、地域独自の技術も全店へ広げることができます。これからも発表会を継続していきます。



発表時の様子



表彰時の様子

●技術報を発行

今回でNo.38を発行した「技術報」は当社職員が社内外で発表した論文について記載する報文集です。今年は、「施工のICT化」を特集しました。その他「調査・研究報告」、「工事報告」、「社外発表論文」となっていて、31編掲載しています。今後も「技術報」の発行を継続していきます。



価値ある情報の提供

お客さまにご満足いただくために

大林道路はさまざまな機会を通じて、「価値ある情報」を提供しています。

ホームページでの情報提供

2009年5月よりホームページをリニューアルし、技術検索を“目的・場所、一般工法名、当社商品名、技術分野名、施工実績を見る”など、ご提供できる技術をさらに増やしました。お役に立てるより多くの情報を早くご覧いただけるよう、努力してまいります。

【発信情報】

- 会社情報…会社概要・社長メッセージ・沿革・企業理念・環境方針・組織図・ネットワーク・社史・アクセス・グループ会社
- 投資家情報…株式情報・株主総会・決算情報・定款・株式取扱規程・電子公告・株式に関する諸手続のご案内・株式メモ
- 事業領域…工事・製品
- 技術情報…プレスリリース・展示会情報・環境への取り組み・工法・製品（技術検索）・大林道路のNETIS登録技術・施工実績・動くパンフレット・技術研究所・機械センター
- 採用情報…新卒採用情報・中途採用情報
- クローズアップ



製品・工法カタログ



製品・工法カタログの一例
「みんなの環境を守ります」



大林道路が皆さまに提供できる技術を分かりやすくカタログやリーフレットにしております。

現在、「みんなの環境を守ります」というファイルをつくり、大林道路が行っている環境技術についてお伝えしています。

動くパンフレット

新しい技術や総合的な技術について、動くパンフレット（DVD）を作成しています。ホームページでも簡易版をご覧いただけます。現在のラインナップをご紹介します。



「人と環境に優しい舗装技術」



「OGP工法」



「大林道路の凍結抑制舗装」

技術提案

さまざまな社会空間のニーズに合わせ、技術提案を行っております。大林道路が提供できる技術を中心に、提案書・図面・完成予想図など、ご要望に合わせてご提案しております。

● 港区立港南小学校へのご提案

屋上緑化を計画されるということで、デザイン性と遊技性をもたせるため、打ち水ペーパーを合わせてご提案しました。屋上緑化は打ち水ペーパーと同様の下面給水自動システムを使用しているグリーンキューブライトを採用していただきましたので、全面自動灌水システムで、夏場のヒートアイランド対策として効果を上げています。



屋上の様子



港南小学校の遠景

● 管更生工法のご提案

排水管は、人間の身体に例えると血管にあたります。健康であるためには、普段からのメンテナンスが必要です。異常が発生してしまってからでは、処置も長引き、費用もかさんでしまうばかりか、命まで危険にさらされる恐れも生じます。

このようなことから、大林道路は10年以上経過した工場に、検査（調査）～問診（企画、立案）～処置（施工）という一貫した提案をさせていただ

いております。当社社員による調査を基に環境に負荷の少ない処置（光硬化工法）によって管を若返らせる

（リニューアル）だけではなく、事故にも強く、長生きできる（耐震性と長寿命化）状態を実現いたします。



管更生前



管更生後

● 土壌汚染された箇所に対するご提案

平成15年2月に「土壌汚染対策法」が施行されて以来、この問題に対する関心は年々高まっています。大林道路の汚染土調査・処理は、工

場跡地等の再開発や土地売買において、土壌汚染が懸念される場合に、汚染の有無・程度および汚染物質の特定に係わる調査と、その処理、ア

フターケアまで大小を問わず、トータルにサポートさせていただくものです。大林道路は、環境省指定調査機関の認定を受けています。



調査



掘削処分



原位置不溶化



地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築

各種活動で地域に貢献します

大林道路は、良き企業市民として社会文化の発展に寄与していきます。

●中国支店

カブトムシの幼虫 110 匹を小学校に贈呈



カブトムシの幼虫

農業用肥料転化中の木チップ内から、カブトムシの幼虫が多数発見され、近隣小学校の要望に応え、幼虫 110 匹を贈呈しました。

●九州支店

歩道橋のボランティア清掃活動

沖縄県内の現場において、ボランティアで歩道橋の清掃活動を行いました。



●四国支店

「88 クリーンウォーク四国」に参加

毎年 8 月 8 日の早朝に一齐に四国各地の道路を歩きながら清掃するイベントで、今年も「中央公園～サンポート高松」のコースで清掃活動を行いました。



挙母まつり後の(桜町どおり)清掃



●北信越支店

「第14回 全日本スキーボード競技 南魚沼大会」に協賛

「2008FIS 公認 第 14 回全日本スキー選手権スキーボード競技 南魚沼大会」に協賛しました。

●大阪支店

地元中学生に現場見学会を実施

西大津バイパス長等トンネル舗装工事で地元中学生を対象に、トンネル舗装工事の見学・現場説明を行いました。



●中部支店

こども110番運動に参加

竹生線道路改良工事において、こども110番活動をしました。こどもたちがトラブルに巻き込まれそうになったとき、助けをもとめやすいよう、小中学生に声かけをしました。



こども110番常設看板設置



こども110番安全チョッキ装着状況

こども 挙母まつり後の清掃活動に参加



挙母まつり後の清掃活動

愛知県豊田市で毎年10月に行われる五穀豊穡を祈願する挙母まつり。まつりでは、紙吹雪の舞う中を人々が一齐に走り出す姿が圧巻です。

まつりの後、紙吹雪の清掃活動に参加し、街はいつもの綺麗な街になりました。

●東北支店

「みんなの森づくり事業」に参加

仙台市が主催する「みんなの森づくり事業」に3年前から参加しています。

事業内容としては年3回、5月に植林、6月下旬、9月に枝打ち(それぞれ土曜日)を行っています。



「違反広告物簡易除却活動」に参加

盛岡市役所主催の違反広告物簡易除却活動に参加しました。



●関東支店

「橋面のキャンパスに虹色の笑顔」～当社施工中の中平井橋で188人のお絵描き大会～



平成19年12月11日、当社施工中の中平井橋で、近隣の墨田区立中川小学校の全校児童が社会科見学を兼ねて、鋼床版に自由に絵を描くイベントが行われました。



●北海道支店

教育文化事業への協力

北海道上川郡上川町に「地域の読書活動に役立ててほしい」と、『紙芝居 おおわらい落語劇場』『川の総合学習』などの図書63冊を寄贈しました。

平成21年3月13日に佐藤上川町長よりお礼状をいただきました。



石川支店長 佐藤上川町長

地球環境保全に取り組んでいます

地球環境に対し、大林道路はどのように貢献できるのか。つねに考え、実践しています。

環境方針

私達は地球を汚染から守るため環境経営に取り組めます。

- ①「もったいない」気持ちを大切に資源の有効利用
- ②当社の環境技術により住みたい街づくりに貢献

環境技術への取り組み

便利で豊かな現代社会。私たちはこの環境を未来に引き継いでいかなければなりません。

大林道路は道づくり・街づくりを通じて地球温暖化や資源の枯渇などさまざまな環境問題に向きあってきました。

人と自然が調和する、安全で快適な生活環境を継続的に提供する技術で環境保全を推進する皆さまのお役に立てると確信しています。

環境目標等に対する監視結果

私たちは環境方針に基づき、環境目標を定め、日々監視測定に努めています。

1. アスファルト合材を1t製造するのに係る重油量

	2007年度	2008年度
重油使用量 目標値：9.0% / t	8.9% / t	8.9% / t

(対象：アスファルト混合所)

2. 全事務用品に占める環境商品率

	2007年度	2008年度
全事務用品に占める 環境商品率 目標：前年より環境商品 占有率を高める	62.0%	86.9%

(対象：Biznetより購入分)

3. コピー用紙使用量

	2007年度	2008年度
コピー用紙使用量 (監視測定のみ)	4,204千枚	4,065千枚

(対象：本支店使用分)

4. 電力使用量

	2007年度	2008年度
電力使用量 (監視測定のみ)	547千kW	547千kW

(対象：本支店使用分)



ダミー管と反射板使用による電力の削減

自然エネルギー事業への参加

奈良県吉野郡野迫川村における風力発電事業

奈良県野迫川村の鶴姫公園に平成15年5月、風力発電設備が造られ、大林道路も工事に参加しました。この事業は国の地球温暖化防止支援事業の一環として行われました。風力発電は40kwが1基、10kwが2基設置されています。



シリーズ 大林道路の技術“守る”



雨
から守る

●ハイドレーン

“おこし”のようにすきまのあるアスファルト舗装です。すきまから雨水が浸透します。ハイドロプレーニング現象や水はねを防止します。



●ハイドレーンN

“おこし”のようにすきまのある自然色アスファルト舗装です。自然石を使っているため自然な風合が楽しめます。車道にも適しています。



●地下貯水工法

雨水を地下に貯留し、都市型浸水災害への対応、水資源の有効利用を行います。



地球温暖化
から守る

●IR ガード

赤外線の吸収を抑制する樹脂で舗装表面を覆うことにより、日射による路面温度上昇を抑制します。



●ハイシール M

“おこし”のようにすきまのあるアスファルト舗装に水をたくわえる保水材を流し込んだ舗装です。雨水をたくわえて、暑い路面を涼しくします。



●打ち水ペーブ

ブロックの毛細管現象を使用し、特殊導水シートと点滴パイプで夏場のブロックの路面温度を低減させます。



雪と氷
から守る

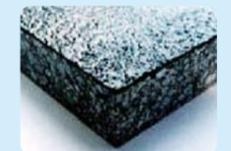
●ルビット舗装

冬場の路面の凍結抑制を、粉碎したゴムチップを使用する舗装です。大林道路が最初に欧州から導入した技術です。



●RA ベーブ

アスファルト、フィラー、骨材、ゴム粒子を使ったRA マスチックを使用して表面処理した冬場路面を凍結抑制する舗装で、リサイクルゴムを使用しています。



●オークサイレント

冬場の路面の凍結抑制だけでなく、“おこし”のようなすきまをつくることで、雨水を浸透させ、騒音を小さくすることができます。



汚染
から守る

●土壌環境改善システム

汚染の有無・程度および汚染物質に係わる調査と、その処理、アフターケアまで大小を問わず、トータルにサポートします。



●AML 工法

廃棄物最終処分場をしゃ水し、溶出物の流出による周辺環境の汚染を防止します。



●CO₂の削減

アスファルト舗装の材料の製造温度を下げ、熱とCO₂の排出量を抑える「低炭素アスファルト舗装」、「風力」などの自然エネルギーを使用しCO₂の削減を推進しています。



特集

環境にやさしい 久喜アスファルト混合所

久喜アスファルト混合所は、環境にやさしい混合所を目指します。

関東支店
久喜アスファルト混合所

場所：埼玉県久喜市清久町 6-5

施設概要：合材製造施設・アスファルトプラント 120t/h

●リサイクルプラント 60t/h

●合材サイロ 100t×2基

●合材サイロ 120t×1基

粉碎処理施設・クラッシングプラント 40t/h×2基

取引品目：アスファルト合材・再生アスファルト合材・再生路盤材
アスファルト廃材（受入れ）・コンクリート廃材（受入れ）

久喜アスファルト混合所の環境負荷削減への取り組み

3R推進協議会から功労賞受賞

大林道路では環境と社会が両立する循環型社会を目指し、リデュース・リユース・リサイクル（3R）の理念を基に企業活動を続けてまいりました。

久喜アスファルト混合所におきましては、活動内容を評価いただき、2005年10月に3R推進協議会より功労賞を受賞いたしました。

その後もさまざまな側面から環境活動に継続して取り組んでおります。



3R推進功労賞 表彰状



温暖化防止を呼びかける看板

臭気低減への取り組み

久喜アスファルト混合所では従来より臭気低減に取り組んでまいりましたが、2009年6月までにドライヤーに用いる燃料を都市ガスに変更し、脱臭炉の設置を完了いたしました。

リサイクル材を乾燥加熱する過程で、アスファルトの揮発成分である臭気が発生します。これら臭気成分のほとんどは炭化水素ですが、一定条件において燃焼させることにより無臭の炭酸ガスへ分解することができるようになりました。



設置完了した脱臭炉



都市ガス供給装置

リサイクルの優等生！

コンクリート廃材は再生路盤材へ、アスファルト廃材は再生合材・路盤材にリサイクルしています。



地域社会とのコミュニケーション

当混合所は埼玉県久喜市清久町の清久工業団地の中にあり、工業団地連絡協議会のメンバーとして、毎年地域社会との事業である清掃（ゴミゼロ活動）や納涼まつりに参加しております。

工場内には、CO₂排出量の削減などの看板を掲げております。また、オフィスでは、電力や紙の使用量とゴミ分別による廃棄物の削減・リサイクルを徹底しております。



清久工業団地 ゴミゼロ活動への参加



オフィス内 ゴミ分別の徹底





人間尊重の経営を行います

安全衛生方針

強い意志をもって安全に取り組みます

大林道路の業務で最も大切な「安全」への取り組みをご説明します。

スローガン

私たちは、職場で働く人々や近隣住民の生活を守るため、
『**繰返し型労働災害及び公衆災害の絶滅**』
をスローガンにしています。

安全衛生目標

① 災害率抑止目標

- 度数率0.60以下（全店で休業4日以上死傷者数6人以下）
- 強度率0.03以下（全店で労働損失日数300日以下）

② 安全目標

- 不安全状態・不安全行動による労働災害の防止
- 車両系建設機械及び車両による労働災害・公衆災害の防止
- 交通事故の防止
- アスファルト混合所での労働災害の防止

③ 衛生目標

- 職業性疾病（特に熱中症）の防止
- 社員の健康状態の把握
- 協会社従業員の健康診断の徹底と健康状態の把握

目標達成のための具体的実施事項

- ① 災害事例を活用して災害防止を図っています。
- ② 不安全行動を見たら互いに声を掛け合って注意しています。
- ③ 安全帯の着用を徹底しています。
- ④ 重機周辺への立入禁止と誘導員の配置を徹底しています。
- ⑤ 重機に後方感知装置などを取り付けています。
- ⑥ バックホウKYカードの手渡し運動を行っています。
- ⑦ 新規入場者一週間安全チェックを行っています。
- ⑧ 安全運転6つのお願い運動を行っています。
- ⑨ 低騒音・低振動の機械を使用し騒音・振動の低減に努めています。
- ⑩ 埋設物標識や昇り旗を使用し公衆災害の防止に努めています。

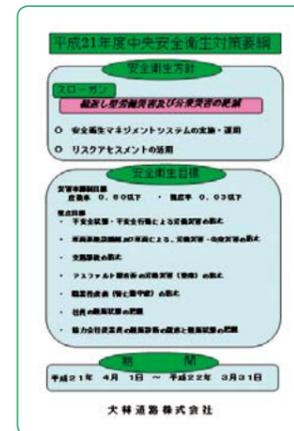


バックホウ KY カード

安全衛生活動

事業場ではそこで働く人々の安全を守るため、「計画、実施、評価、改善」を柱とした「労働安全衛生マネジメントシステム (OHSMS)」を基本にしています。

- ① 中央安全衛生委員会、地方安全衛生協議会で安全衛生方針、安全目標、目標達成のための具体的実施事項を盛り込んだ中央安全衛生対策要綱を策定しています。



- ② 支店単位で毎年安全大会を実施し、安全意識の高揚を図っています。



- ③ 安全パトロールを実施し、職員の安全に対する OJT を行っています。



- ④ 安全ニュースの発行を行っています。
1989年に「みんなの幸せを願って」を合い言葉に第1号が発行されました。現在では560号を超え、災害発生事例や写真を載せて現場の事故・災害防止に活用しています。





人材育成・職場環境

人間を第一に考え、 制度を充実させています

技術の源は人材。

人間尊重を掲げる大林道路の人材育成と福利厚生の一環をご紹介します。



余暇充実

余暇は、人生における潤滑油。
元気の再生産が、企業の発展を支えます。

- 勤続10年、20年、30年の節目にリフレッシュ休暇（1～2週間）の付与と旅行クーポン（5～12万円）支給を行っています。
- 自社保有（草津、鴨川、山中湖、野辺山、トマム、播磨高原）の保養所のほか、リゾートホテルと契約し、余暇のサポートを行っています。
- 共済会では、慶弔寄贈、医療費補助など、“もしも”のときのサポートを行っています。



WLB

（ワークライフバランス）

育児・介護休職制度

子供のための看護休暇制度

- 育児休職は1歳6カ月まで、介護休職は1年まで取得可能。育児休職取得率83%（過去4年、母親のみ集計）、育児休職からの復職率80%と、復職しやすい職場づくりを目指しています。
- 価値観の多様化に対応した地域限定勤務コースは、毎年申請可能。個人の事情が解消すれば、全国勤務コースに再転換することもできます。
- 定年後継続雇用制度では、後進の育成や、これまで培ってきた技術、知識が活かせる職場を提供します（2008年度再雇用率86%）。

多様な価値観を認め合い、みんなの幸せを追い求める制度設計。大林道路は社会環境の変化にあわせ、積極的にWLBに取り組みます。

勤務コース選択制度

定年後継続雇用制度

障がい者雇用率



建設業は屋外での作業が中心となることから、障がいをお持ちの方の勤務場所が限定されがちです。しかし、事務職等の内勤で大いに力を発揮できるよう、職場環境を整えています。ここ数年の従業員数の増加により、残念ながら法定雇用率を維持できておりませんが、積極的に雇用率の改善に努めてまいります。



人材育成

大林道路にとっての人材育成は、技術開発の原動力。現場でのアイデアは、技術革新の出発点であり「高める能力」があってこそのものであります。

教育研修制度は、タテ・ヨコの網目でサポート。

階層別教育だけでなく、テーマに沿った研修制度を充実していきます。

- 「創造と挑戦」をテーマに、各階層別研修を毎年実施しています。
- 営業所長研修、品質管理担当者研修といった専門研修に加え、長期的な育成に主眼をおいています。
- 自己啓発のための通信教育制度、技術士などの資格取得のための特別教育制度を通じて、人間的成長をサポートしています。

上級管理者研修
 中級管理者研修
 初級管理者研修
 中堅社員研修（8年目）
 若年社員研修（4年目）
 新入社員研修

OJTのための目標管理制度

目標管理制度は、経営目標達成だけでなく、個人の成長目標を重視。ここでも、個人の成長が企業の成長につながるという信念が表現されています。

- 期初面接
 - ・上司の期待を明示
 - ・なりたい自分を表明
- 中間面接
 - ・進捗状況をチェック
 - ・目標達成に向けたアドバイス
- 期末面接
 - ・達成度の確認
 - ・結果のフィードバック

CSRに関する 用語解説

か 環境マネジメントシステム (EMS)

企業や組織が自社の活動による環境への影響をできる限り抑えていくための仕組みのことで、国際規格ISO14001や中小企業向けの規格であるエコアクション21に準拠したものが日本では一般的なものとして挙げられる。企業に対する地球環境問題への取り組みが強く求められる現在、企業における環境マネジメントシステムの導入が進められている。

企業市民 (Corporate Citizen)

企業市民とは、企業を社会の一構成要素とみなし、社会に存在する行政組織、NGOやNPOといった団体、個人など、さまざまな主体とバランスよく連携をとりながら、社会に役立つ事業活動を行っていくべきであるという考え方を指している。

企業倫理 (Business Ethics)

企業の守るべき道徳観のこと。法令で定められた事柄にとどまらず、社会通念、あるべき社会に向け規範となるような姿勢・考えとして企業が確立すべきものとされている。

コーポレート・ガバナンス (Corporate Governance / 企業統治)

企業の意思決定において、経営者や社員が法令、規則、社会的規範や企業倫理に反する行動を取らないようにすることや、その仕組みを示す。具体的には、企業内外のさまざまな利害関係者相互の関係、利害調整を行う仕組みや経営者に規律を与え監督・監視する仕組みがあげられる。

コンプライアンス (Compliance)

コンプライアンスとは、もともと「規則や要求に従うこと」を意味する「compliance」という英単語からきた言葉である。日本語では「法令遵守」と訳されるが、CSRに対する期待が高まりつつある現在、法律や明文化されたルールに限らず、社会一般的な道徳や常識も反映させた企業倫理や行動規範の遵守も含めて考えられるのが一般的である。

さ ステークホルダー (Stakeholder)

企業の利害関係者のこと。企業活動に関わる顧客市場、調達市場、人材市場、金融市場、社会などに属する個人や集団を指す。

た 地球温暖化

人間の活動規模の拡大を主な要因として、二酸化炭素・メタン・亜酸化窒素などの温室効果ガスの濃度が増加することにより、地球の表面の気や海水の温度が上昇することを指す。地球上では、地球温暖化の影響が既にさまざまな形で生じ始めていると言われており、温暖化対策の重要性が国際的に叫ばれている。

な 内部統制

内部統制とは一般に企業の内部において、違法行為の監視、健全な組織の運営を目的として、そのプロセスを標準化、文書化して、管理・監視・保証を行うことである。

は 品質マネジメントシステム (QMS)

品質マネジメントシステムは企業などの組織が製造物や提供されるサービスの品質を管理監督する仕組みである。品質管理を中心とした組織の活動で、顧客満足を達成し継続的な改善を意図している。

ら 労働安全衛生マネジメントシステム (OHSMS)

組織（事業場）の「労働安全衛生方針」を明らかにし、組織体制、計画策定、手順などを含むマネジメントシステムで、PDCAサイクルを回し、掲げた目標を達成、さらにはそのパフォーマンスを継続的に改善していく仕組みである。

わ ワークライフバランス (Work-Life Balance)

働く人々が、仕事と私生活をバランスよく両立することにより、仕事の生産性と生活の質を向上させるという考え方である。少子高齢化が急速に進む中、子育てと仕事の両立支援という側面から注目を集めているが、これに限らず仕事と家庭、仕事と勉強など、さまざまな対象が考えられる。

B BCP (Business Continuity Plan)

事業継続計画と訳される。自然災害やテロなどの不測の事態において、企業の事業継続をはかるための方針や手続きを示した計画（文書）のことである。このようなさまざまなリスクに対して迅速かつ効果的に対処し、事業活動の継続性を確保するための戦略的な運営管理手法である。

C CSR (Corporate Social Responsibility / 企業の社会的責任)

社会が企業に対して抱く法的、倫理的、商業的もしくはその他の期待に対して照準を合わせ、すべての鍵となる利害関係者の要求に対してバランス良く意思決定することである。利潤追求のみならず社会問題に配慮した取り組みを行う企業は古くから存在するが、「社会からの期待」と「すべての利害関係者」という2点が近年の議論の特徴である。

CSR報告書

企業の環境の側面と社会的な側面における方針や取り組みなどの情報を、幅広くステークホルダーに開示するために企業が発行する報告書で、持続可能性報告書や社会・環境報告書も同種のものと考えられる。CSRの取り組みに対する注目が高まる現在、CSR報告書はステークホルダーへの説明責任を果たす上で重要なツールの一つであり、発行企業は年々増加している。

I ICT (Information and Communication Technology / 情報通信技術)

ICTとは、情報・通信に関連する技術一般の総称である。従来ひんぱんに用いられてきた「IT」とほぼ同様の意味で用いられる。IT (Information Technology) の「情報」に加えて「コミュニケーション」が具体的に表現されている点に特徴がある。ICTとは、ネットワーク通信による情報・知識の共有が念頭に置かれた表現であるといえるもので、「IT」に替わる表現として日本でも定着しつつある。

ISO9001

ISO9001は品質マネジメントシステム (QMS) を確立するための要求事項が規定されている品質管理及び品質保証のための国際規格である。信頼のおける品質システムを組織内部に構築することによって、顧客満足を得ることを目的とした規格になっている。

ISO14001

ISO14001は、企業などの組織が環境マネジメントシステム (EMS) を構築するための要求事項を規定した国際的な規格であり、環境マネジメントシステムにおいて、世界的にもっとも認知されている規格である。システムを導入した企業は、第三者の審査を受けることにより、認証を取得することが可能であり、環境への対応の重要性が高まる中、多くの企業がこれに基づくシステムの導入・認証を進めている。

O OJT (On the Job Training)

OJTとは、通常「職場内訓練」と訳される。従業員が業務を行う上で必要となる技術や能力を修得する場合、担当する業務についたまま訓練を受けることを指す。

最後に

本報告書を最後までご覧いただき、ありがとうございました。

今回CSR報告書を初めて発行することになりました。生みの苦しみは、全社のCSR活動をそれぞれのステークホルダーの視点で見つめ直し、これをいかにご理解いただくか、また分かりやすい記述と編集になっているかということに尽きます。

こうしたなかで、今年度版では、当社の企業理念を全面に押し出し、この理念の項目に従ってカテゴリーごとにCSR TOPICSを設け、特にお伝えしたい事柄をそれぞれの記事としました。報告書全体に抑揚をつけることで飽くことなくお読みいただけるのではないのでしょうか。

また、この発刊は実活動の推進度合いや課題もより見えやすくなり、中期計画や年度計画への反映へと止まるところはありません。次号はより良いCSR報告書を刊行するために、社内外の方々の直截的なご指摘をいただきながら改善の指針をさぐってまいります。

限られた紙面でいかに当社のCSR活動をご理解いただけるか、説明責任を果たしているかが編集スタッフであるCSR報告書作成委員会一同最大の関心事です。ぜひ、お読みいただきましたご感想、ご指摘を頂戴できれば幸いです。

2010年2月